



デフネットながの通信

令和6年1月
長野市聴覚障害者センター
デフネットながの
長野市鶴賀 276-10
TEL 229-5557
FAX 229-5558



2023 年はどんな年だったでしょうか？コロナ明けでいろいろな場所に行くことができたり、久々に大勢での食事や飲み会などを楽しんだ…という方も多かったのでは？

さて、2024 年はオリンピックの年。デフリンピックを 2025 年に控え、みんなで盛り上げたいですね。

今年度はコロナの影響もなく、全ての事業を滞りなく実施してきました。

以下、聴覚障害者教養講座の様子をご報告します。

◆10月22日(日)「ろう者の誇り」 深川誠子さん

(三重県聴覚障害者協会会長・松阪市聴覚障害者協会会長)

※長野市聴覚障害者協会企画

講師の深川さんは県協会と地域協会の会長を兼務し、さらに全日本ろうあ連盟の理事（福祉・労働委員会副委員長）もされている、とてもパワフルな方です。長野市も手話言語条例の制定を目指していると聞き、松阪市の条例についてたくさんお話しいただきました。

松阪市で手話言語条例制定の動きが始まったきっかけは市長と松阪市聴覚障害者協会、難聴者団体との意見交換会でした。施設に入所している高齢ろうあ者の、手話がない孤独な環境が問題だと訴え、市長の方から「条例を作ったらどうか？」と提案されたそうです。そこから各地域の手話サークルに出向き、条例の必要性や条例ができたら何をしてほしいか意見を集めるなど、みんなで勉強を重ねたとのこと。条例の名前は啓発を兼ねて市民からアンケートを取り「手と手でハートをつなぐ手話条例」になりました。手話はろう者の大切な言語ではありますが、条例は市民への理解を広めるためのものだからこそ、手話サークルや多くの市民を巻き込んで取り組んだことは素晴らしいと感じました。

条例制定後はお出かけ手話講座や手話普及啓発ポスターの募集（小学生向け）など、精力的に活動されています。また、市民に手話を広めるための手話ダンスチームを作り、深川さんも参加しているとのこと。発想の豊かさに感心させられました。

松阪市の手話
条例シンボル
マーク



42名（ろう・難聴者 27名、聞こえる人 15名）という大勢の方にご参加いただきました。市協会役員の方もスタッフとしてご協力ありがとうございました。

後半はグループワーク。聞こえなくて困ったことと、その解決策などについて話し合いました。複数で話し合うことで「そういえば…」と次々にろう者から意見が出て盛り上がりました。

【聞こえなくて困ることの例】（当日挙がった意見の抜粋）

- ・スーパーなどで「聞こえない」という身振りを「不要」と勘違いされた。
- ・ガソリンスタンドで店員との会話が通じない。
- ・高速道路の料金所で係員を呼ぶボタンを押しても、来るまでに時間がかかる。
- ・インターホンを押しても気づかない、又は出るまで時間がかかるので留守だと思われる。



- ・近所を歩いていた時、あいさつされても気が付かないので不審者と勘違いされた。
- ・急病のとき、すぐに手話通訳者を呼べない。
- ・病院で、医師にマスクを外してと頼んでも外してくれない。
- ・相手が聞こえないとわかると離れてしまう人がいる。

深川さん曰く、このような話し合いの積み重ねが大事だと。そして、条例の制定も制定後の活動も、ろう者と聞こえる人が一緒に取り組むことが必要。なぜならば、「手話が通じなくて困っているのはろう者だけではない。聞こえる人も困っているから」との言葉が心に刺さりました。

◆12月3日(日)「暮らしに役立つひも・ロープの使い方講座

村上欣央(よしひさ)さん(自然体験インストラクター)

この講座内容はろう者からの希望で実現したものです。講師は元手話サークル会員の村上さん。防災士の資格もお持ちで、昨年度は市協会・手話サークルが合同で開催した防災をテーマとした企画の講師を務めました。



防災の話のときにもロープの結び方を学んだはずでしたが、その時にはなかなか身につかず…。今回はロープに絞った内容で、じっくり腰を据えて学びました。

全員が苦勞した「もやい結び」の説明中

当日学んだ結び方の中から、一番簡単で生活に役立つ「本結び」を紹介します。

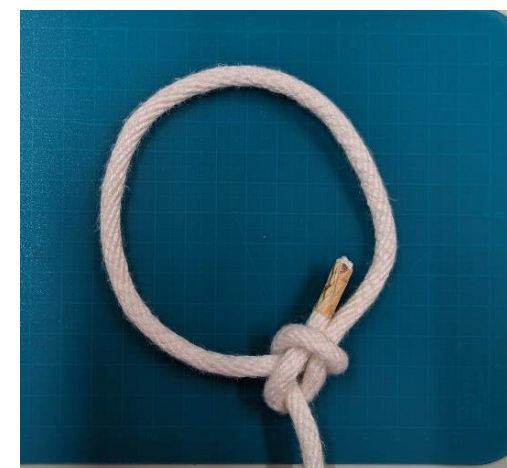


「本結び」のできあがり！
結び目がきれいです。

ここで下になった方を下、
上になった方を上
と考えると覚えやすい

同じ太さの紐やロープの端と端を結んでつなげる時に便利です。両側から引っ張る力に強く、解くことも簡単にできます。

毛糸やゴム紐を結ぶ時にも使えますね！



左の結び方は皆が苦労して覚えた（又は覚えられなかった）「もやい結び」。

一度結んでしまえば輪の大きさが変わらず、信頼性が高い結び方です。

方法は少々複雑なので、ここでは割愛します。

（YouTube で「もやい結び」と検索すると動画がいくつも出てきます）

家に帰ったらテレビを見ながらでもいいので、繰り返し練習をし、考えなくても手が勝手に動くくらいになってください、とのことでした。そうでないと、いざというときに使えません。



最後、グループ対抗戦ゲーム「本結びで皆のロープを繋げて輪を作る」「本結びでロープを繋げたあと、最後に『もやい結び』で小さな輪を作る」の二つをやってみました。

ゲーム感覚で楽しく復習ができました。

次回の教養講座は・・・

2月18日（日）10時～12時
長野市障害者福祉センター
テーマ：「元気なうちに準備しておく
介護とお金のはなし」
（手話通訳・要約筆記つき）

今後、教養講座で取り上げてほしいテーマがありましたら、是非お知らせください！

～長野市在住の聞こえない方へ～

今後、デフネットながのからのお知らせを直接受け取りたい方は、右のQRコードからお申し込みください。

メール・FAX・郵送の選択ができます。

スマホやパソコンのない方は、「お知らせ受け取り希望」と書いて、FAXでご連絡下さい。申込用紙を送ります。



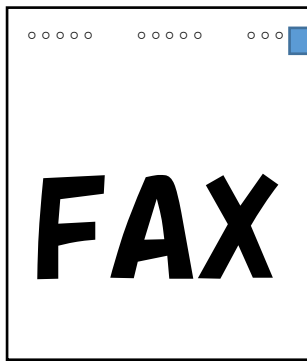
手話による説明動画です

.....デフネットながのからのお願い!.....



白紙の FAX に困っています

ときどき、何も書かれていない白紙の FAX を受信することがあり、送り主がわからないときはとても困ります。送った相手の FAX に、自分の番号や名前が印刷されるよう設定してください。「発信元登録」「自局情報」などのメニューから登録できます。



登録の方法がわからない場合はご相談ください。

(拡大)

発信元：〇〇〇〇 電話番号：026..... 2024.01.05(木) 08:30

登録しておく、送った相手の FAX に
自分の名前などが印刷されます

通訳申請しても、直前まで決定書が来ない時は
デフネットに問合せてください

～市役所とデフネットながのに手話で問合せができます～

長野市障害福祉課とデフネットながの事務所にビデオ通話を使って手話で問合せができます。詳しくは広報ながの 1月号 23 ページ「ビデオ通話による手話での問合せ窓口開設」をご覧ください。

※注意事項 … 遠隔手話通訳や長時間の相談（15分を超えるもの）はご遠慮ください。

～手話通訳者・要約筆記者の派遣申請は メールでもできます～

通訳者の派遣申請はメールでもできます。外出先や、申請用紙が手元にないときには便利です。デフネットながの HP を見ると、最初に出てきます。HP は「デフネットながの」と検索するか、右の QR コードを読み込んでください。



長野市聴覚障害者センター
ター
デフネットながの

手話通訳・要約筆記者の派遣
聴覚障害者へのコミュニケーション保障を
行います

(向け(FAXでの申請))

ダウンロードページにとびます

個人向け(メールでの申請)

メール作成画面にとびます
*ひらがなの方は連絡ください

